

和歌山箕島球友会 善戦



スティックバルーンを打ち鳴らして応援する観客ら
=いずれも大阪市の京セラドーム大阪で



一回裏に先制点を許すと、スタンドは「頑張れ三宅」の大声援。三宅悠投手の母啓子さんは(57)は「一球一球大切に投げて、初戦を突破して」と祈るように見つめていた。チャンスは三回表に訪れた。四球で出塁した浦川拓人選手が盗塁に成功。応援団はステッキを振りながら「うおー」と声援を送った。

試合後、箕島高校野球部OBの中村等さん(63)は「全国の舞台で吉さん(57)は「みんなの応援は、選手たちの来年からのエネルギーになる」と期待を込めた。

和歌山箕島球友会 ホンダ
五回表和歌山箕島球友会
死、上田が中前打を放つ
た。
|| 小松雄介撮影

試合開始前、スコアボードに掲示された先発メンバーには、左足首を複雑骨折し、リハビリを続ける大北匠^{タケル}央^{カズ}主将の名前があった。士気を高めるための西川忠宏監督の策だ。

実際には、大北主将に立った。代わって上田永力選手がグラウンドに立つ。一回裏に先制点を許すと、スタンドは「頑張れ三宅」の大喝采。

イックバルーンを打ち鳴らし盛り上がりがった。六回表にも、水田信

力強くエールを送る応援団



ホンダ 200000000000100000XO
30

力出し切り観客拍手

第39回社会人野球日本選手権大会(毎日新聞社、日本野球連盟主催) 第5日の1日、和歌山箕島球友会は強豪のホンダ(埼玉)に善戦し、0—3で敗れた。3回目の出場となつた今大会。京セラドーム大阪での初勝利は果たせなかつたものの、持てる力を出し切つた選手たちに、地元有田から駆け付けた観客や応援団から大きな拍手が送られた。【道岡美波、川畠展之】



○…一塁側スタンドには、地元有田から大勢の観客が詰めかけ、ミカン色のTシャツ姿の応援団と一体となってエールを送った。応援団はこの日のために結成され、元住友金属の応援団経験者から指導を受け、ミカン色のエール交換1ヶ月かけて練習してきた。エール交換担当の吉田悠佑さん(28)が「頑張れ、頑張れ箕島」と応援をリード。平均年齢40歳のよさこいチームが華やかに舞い、プラスバンドが力強い演奏で盛り上げた。



和歌山箕島球友会—ホンダ 力投する
ホンダの先發・福島—北村隆吉撮影

ボンダ・長谷川 球監督 相手投手がいいところは分かっていた。五全の状態で臨んだ都合で、対抗は初戦敗退したので、苦しみながらでも勝てて良かった。

和歌山箕島球友会
西川忠宏監督　死球失策が絡み失点した
回が痛かった。打撃も粘れなかつた。「一ムで1勝」を台言に立て直したい。

ピンチに動じず
入社後、初の全国会登板。マウンド上自身に言い聞かせた。

木
ノ
ン
ダ
(関東・埼玉)
200000010000X
30

ホンダは一回、2
ら小板の左翼線適時
を先取。六回にも敵
えた。先発の福島は

死一、三塁か
二塁打で2点
失で1点を加
けた緩急を付
い安球投

球で、3安打完封。和歌山箕島
友会の三宅悠もホンダ打線を4
打に抑えたが、一回の失点が響
た。

ホンダ12K完封劇

計	2842
和	12111221
振球	壘失殘併
本	4310052
投	手回安責
三宅悠	842
福島	930
▽二塁打	小板
水田▽1	時間51分